



新スポーツ「アルティメット」を楽しむ

さとう きなり  
佐藤 生成

国際情報学部  
国際情報学科1年  
私立中央大学附属高校  
(東京都)出身



# 国際情報学部第1期生の活動報告 国際情報学部での生活とこれからの学修

## iTLへの入学

私の母校では、3年生のときに卒業論文を執筆する課題がありました。私はかねてから興味があった「eスポーツ」についての論文を執筆しました。「eスポーツ」に携わる方々の考えに触れていく過程で、文系・理系の垣根を超えた学際的な知識を身につけることの必要性を感じるようになりました。そんな折、国際情報学部開設準備室副室長(現・国際情報学部教授)の岡嶋先生から国際情報学部についてのお話を聞く機会があり、「情報」と「法律」を複合的に学ぶiTLは、まさしく自分がかめざしていた学際的な人物になることができる学部だと確信し、入学を決めました。

## 入学してみて

入学から1年、交友関係も広がり楽しい大学生生活を送っています。1期生ということもあり、何か新しいことを始めようという気持ち強い人が多く、モチベーションの維持にもつながっています。iTLは自分のPCを学校に持ち込んで授業を受けるBYOD方式を採用しており、私も持参したPCを使用してノートをとったり課題を提出したりしています。授業ではプログラミングやデータサイエンスなどの情報系から、民法や刑事法な

どの法律系、哲学・倫理学まで幅広い知識を学ぶことができます。また、外部講師を招いた実学的な授業も多く、将来の進路に関して具体的なイメージを持つことができます。

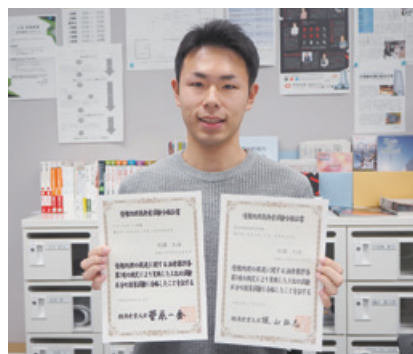
## サークル活動

私は現在、アルティメットサークルと理工陸上同好会に所属しています。アルティメットサークルは高校時代の友人に誘われて入りました。初めは慣れないことも多かったのですが、友人や先輩とともにアルティメットを楽しんでいます。理工陸上同好会は中学・高校とやってきた陸上競技を続けようと思いいりました。どちらのサークルもiTLのある市ヶ谷町キャンパスを拠点としたサークルではありませんが、友人のなかにはiTLで新しいサークルを立ち上げて活動している人もいます。

## iTPassポート試験、 基本情報技術者試験の合格

情報系の資格であるiTPassポートと基本情報技術者の存在を知ったのはiTLに入学してからで、当初はまだ先のことを考えていました。しかし、情報系の授業では情報の仕組みだけでなく、マネジメントや企業法務など実際の業務に必要な知識を学ぶことができ

き、その興味深い授業内容をきつかけにiTPassポート試験の勉強を始めた。8月



iTPassポート試験と基本情報技術者試験に合格

にiTPassポート試験に合格した後、もつと上のレベルの知識を得たいと考え、iTPassポートの上位資格である基本情報技術者試験の勉強を始めました。難しい問題も多く不安もありましたが、前期に行われた授業のノートやレジュメなども参考にして勉強し、10月の試験で無事合格することができました。現在はさらに上のレベルである応用情報技術者試験に向けて勉強をしています。

## 今後の学修

毎日が充実し、あつという間の1年でした。残りの3年間、情報に関する勉強はもちろん、iTLのもう1本の柱である法律の知識も積極的に修得しながら、自身が希望する進路を見つけ、その実現に向かって学修を進めていきたいです。